

私と国有林

豊かな森を未来に引き継ぐために

(ふれあいの森「甲府商工会議所の森」の取組み)

甲府商工会議所 中小企業振興部 調査広報室長 飯島 司

南に霊峰富士、西に南アルプス、北に八ヶ岳、北東には秩父連山と、四方を日本有数の山々に囲まれた山梨県は、県土の約78%を森林が占める全国でも有数の森林県です。県都甲府市においても森林が約64%を占めるなど、その恩恵を大いに受け、きれいな空気と豊かな水資源に恵まれております。

このような自然環境の中、甲府市古府中町大日影国有林内の、甲府自然休養林「つつじヶ崎の森」は、JR甲府駅の北約1.5km、戦国の名将武田信玄公をお祀りしている武田神社の北東約500mに位置し、森の中腹南斜面からは眼下に甲府の市街地を一望することが出来ます。

当所が、森づくり活動を行うことを目的とし、この「つつじヶ崎の森」の一部2.01haを、ふれあいの森「甲府商工会議所の森」として、県内でも様々な地域で植林活動等に貢献している(公財)オイスカ山梨県支部と連携・協力することを基本に、山梨森林管理事務所とオイスカ山梨県支部、当



「甲府商工会議所の森」の除幕式

所との三者で平成22年3月に協定書を締結しました。

当所ではこれまで、環境問題で大きな課題である地球温暖化防止に取組み、温暖化の大きな要因でもあるCO2削減対策として、平成21年度に太陽光発電パネルの会館施設への設置、翌22年度には公用車としてEVの導入等を行っております。

こうした具体的対応に加え、当所が平成21年度に創立130周年を迎え、その記念事業の一環とし

て、ふれあいの森「甲府商工会議所の森」を設置し、森づくり活動を行うことになりました。

この森づくり活動は、多くの会員事業所が業種を超えて協働し、地域に根差した森林環境問題や森林による健康づくりに関心をもち、平成26年3月まで5年間活動を行うものです。



植樹式の様子

当箇所は、平成17年4月に山火事があった跡地で、平成19年4月からANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都)が環境保護活動の一環として植林活動に取り組んでいたものを、当所が引き継ぐ形で現在に至っているものです。

武田神社周辺の桜がほころび始めた平成22年3月28日に植樹式を

開催し、ボランティアスタッフを加え、総勢100名を超える参加者の下、ケヤキ、イヌエンジュ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ミツバツジなど高木と低木を合わせて450本ほど植樹しました。

その後は、市内の植林業者、オイスカ等の協力を得て、年2〜3回の下草刈りと一部補植を行っています。今春は、森の中の高木に取り付けるための巣箱づくりを市内の小学生にお手伝いいただき、作業の中で当所職員による森の循環についての学習を行いました。



森の循環についての学習の様子

私たちが植樹した苗木が、一年ごと順調に成長し、焼け跡が立派な森として再生するよう、今後も活動を続けて行く予定です。